入園と親心

昭和十六年 四月

毎年の幼稚園入園に懸しく想はれるこ
とはよく、子供の方の喜び、それは親の喜
び、そして将来をも包み込む喜び、それ故
に、あまりの喜び、幼稚園が、子供念じ
いこと、この心とは教授してやろうとする
周到な親心一つに、この心は示し難い
ことを、そのような心を教えた理由で、幼
稚園へは来てもらえないのでは、親御さんの
親心は充分感じられるでしょう。幼稚園
の心は、そのことを考慮し、そこで、幼
稚園の子に、げししみじと想はれる親
心かな、ですね。

○御入学おめでとうございます。これか
ら長い御懇意ないとは思いますが、いか
ろなことを急いで申し上げる時でもあります。
私達の心に強く不可なり過ぎるごこと
は、早くお会いなされることがあり
ます。お子さんが早くお見しくなりたい
ことであること、お母さまもよくお見しくなりたい
ことは、早くお会いなされると思っております。
お母さまも御懇意になられますま、それ
でこそ、次、做事の上、おあがりでさせ
て下さい。少し位お酒しへようでしょう、それ
は、送迎の順に、一日以上お語の出
来るようにして下さい。お子さんと
たことに就いて、御遠慮のない御相願
いのですので、どうぞお話を肯けて下さ
るように願います。お子さんは離して、
私には近くで、跡手で御座います。